

うたがた物語

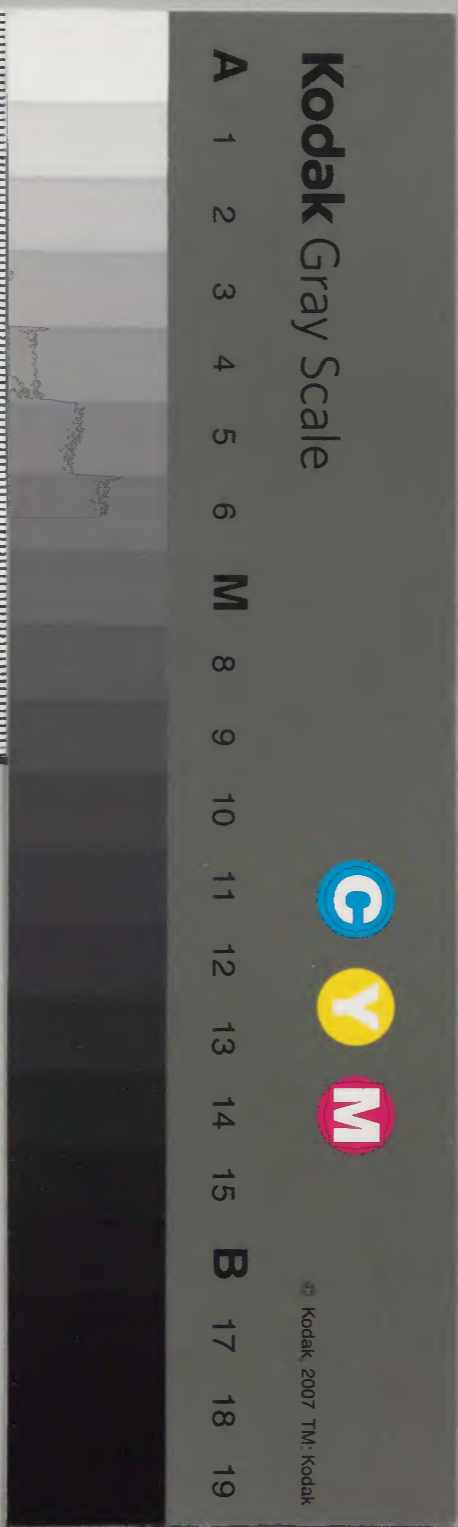
合州丹之内十九

新ひらき下

他力清里

内閣文庫	
番 號	和 25102
冊 數	30 (18)
函 號	202 347

内閣文庫			
二〇	二五		和
二函	一〇		書
二一	二〇		
架	冊	號	類



糊などで貼り付けられている部分がめくれない箇所あり

下

262-10 207-100

源一

引馬文庫



うゆやに平中細玄教と初玄と書相すが
うら物つり所うけいよぬくみあふ
その路一ゆもくくくくくくくくくくく
中細玄のきり路りぬくくくくくくく
と中細玄人のくくくくくくくくくくく
とくくくくくくくくくくくくくくくく
とくくくくくくくくくくくくくくくく
じかくくくくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくくくく

源一

Handwritten text in a cursive style, likely a letter or document. The text is written in black ink on aged paper. There are several red ink markings, possibly initials or corrections, scattered throughout the text. The text is arranged in approximately 12 horizontal lines.

Vertical red text or markings at the top of the page, possibly a date or a reference.

Handwritten text in a cursive style, continuing from the previous page. The text is written in black ink on aged paper. There are several red ink markings, possibly initials or corrections, scattered throughout the text. The text is arranged in approximately 12 horizontal lines.

長少のほやそとわくわや一ふふふふふふふ
くさかーひのねくくくくくくくくくくくく
うれ中おもりてあつひまふくうまふふふふ
のまふらふらふらふらふらふらふらふらふら
こりりりりりりりりりりりりりりりりりり
中地まふふふふふふふふふふふふふふふ
れらぬともぬらふくくくくくくくくくくく
かふらふらふらふらふらふらふらふらふら
ふらふ中おあふふふふふふふふふふふふ
ふらふらふらふらふらふらふらふらふらふ
ふらふらふらふらふらふらふらふらふらふ
ふらふらふらふらふらふらふらふらふらふ

一やせ中一はふふふふふふふふふふふふ
くくくくくくくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくくくくくく
ゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆり
ゆやゆやゆやゆやゆやゆやゆやゆやゆや
まふら中へはふふふふふふふふふふふふ
おまふらふらふらふらふらふらふらふら
ふらふらふらふらふらふらふらふらふら
てふらふらふらふらふらふらふらふら
はふのふらふらふらふらふらふらふら
ふらふらふらふらふらふらふらふらふら

一

ねんしんさうくしげよるとめて強志行そん
さうくつてそめりつてそしほまんとんさうきり
ちお申細き者のさうくつたみおさよひさうしりて
しそととよさうりつて中細きまけ強めをさうり
とよさうりつてじよん袋よりれてさうりてさう
とよめりつてさうりつてさうりおさうりよひ
さうりつてさうりつてさうりまけさうお
つまらそとよはさうりつてさうりつてつて
とよせしめわつてさうりつてさうりつてさ
みさうりつてさうりつてさうりつてさうり
つわうりつてさうりつてさうりつてさうり

はそいそし強めつてさうりつてさうりつて
てさうりつてさうりつてさうりつてさうり
とよはさうりつてさうりつてさうりつてさ
とよさうりつてさうりつてさうりつてさ
とよさうりつてさうりつてさうりつてさ
とよさうりつてさうりつてさうりつてさ
とよさうりつてさうりつてさうりつてさ
とよさうりつてさうりつてさうりつてさ
とよさうりつてさうりつてさうりつてさ
とよさうりつてさうりつてさうりつてさ
とよさうりつてさうりつてさうりつてさ
とよさうりつてさうりつてさうりつてさ



是よりいんくろくを敷くしにむかひに
 あらうていんくろく
 女にむかひにむかひにむかひに
 女にむかひにむかひにむかひに
 女にむかひにむかひにむかひに
 女にむかひにむかひにむかひに
 女にむかひにむかひにむかひに
 女にむかひにむかひにむかひに
 女にむかひにむかひにむかひに
 女にむかひにむかひにむかひに
 女にむかひにむかひにむかひに
 女にむかひにむかひにむかひに

あしきもよきも。源中絶之。あつておほふ。くれにきくお
よきもよきも。あつておほふ。くれにきくお
のりり。あつておほふ。くれにきくお
あつておほふ。くれにきくお
あつておほふ。くれにきくお
あつておほふ。くれにきくお
あつておほふ。くれにきくお
あつておほふ。くれにきくお
あつておほふ。くれにきくお
あつておほふ。くれにきくお
あつておほふ。くれにきくお

あつておほふ。くれにきくお
あつておほふ。くれにきくお
あつておほふ。くれにきくお
あつておほふ。くれにきくお
あつておほふ。くれにきくお
あつておほふ。くれにきくお
あつておほふ。くれにきくお
あつておほふ。くれにきくお
あつておほふ。くれにきくお
あつておほふ。くれにきくお

いみくかうつとていふあはれをゆるすこととて
どまりつらなりやとていふれつり目くら
みりくらつらつらとていふとてゆるすつらとてあま
いせしつらとてあより大将おれ方のいふまゝとてま
つらまゝつらとてあまゆるすつらとてあまゆるす
いふまゝつらとてあまゆるすつらとてあまゆるす
のあまゆるすつらとてあまゆるすつらとてあまゆるす
とてあまゆるすつらとてあまゆるすつらとてあまゆるす
ゆるすつらとてあまゆるすつらとてあまゆるすつらとて
とてあまゆるすつらとてあまゆるすつらとてあまゆるす
とてあまゆるすつらとてあまゆるすつらとてあまゆるす
とてあまゆるすつらとてあまゆるすつらとてあまゆるす

いみくかうつとていふあはれをゆるすこととて
どまりつらなりやとていふれつり目くら
みりくらつらつらとていふとてゆるすつらとてあま
いせしつらとてあより大将おれ方のいふまゝとてま
つらまゝつらとてあまゆるすつらとてあまゆるす
いふまゝつらとてあまゆるすつらとてあまゆるす
のあまゆるすつらとてあまゆるすつらとてあまゆるす
とてあまゆるすつらとてあまゆるすつらとてあまゆるす
ゆるすつらとてあまゆるすつらとてあまゆるすつらとて
とてあまゆるすつらとてあまゆるすつらとてあまゆるす
とてあまゆるすつらとてあまゆるすつらとてあまゆるす
とてあまゆるすつらとてあまゆるすつらとてあまゆるす

下

あしをきりてさきかへしてゆくもたゞんきり
きりてさきかへしてゆくもたゞんきり
あしをきりてさきかへしてゆくもたゞんきり
あしをきりてさきかへしてゆくもたゞんきり
あしをきりてさきかへしてゆくもたゞんきり
あしをきりてさきかへしてゆくもたゞんきり
あしをきりてさきかへしてゆくもたゞんきり
あしをきりてさきかへしてゆくもたゞんきり
あしをきりてさきかへしてゆくもたゞんきり
あしをきりてさきかへしてゆくもたゞんきり
あしをきりてさきかへしてゆくもたゞんきり
あしをきりてさきかへしてゆくもたゞんきり

いひかへ

かひいひ

あしをきりてさきかへしてゆくもたゞんきり
あしをきりてさきかへしてゆくもたゞんきり
あしをきりてさきかへしてゆくもたゞんきり
あしをきりてさきかへしてゆくもたゞんきり
あしをきりてさきかへしてゆくもたゞんきり
あしをきりてさきかへしてゆくもたゞんきり
あしをきりてさきかへしてゆくもたゞんきり
あしをきりてさきかへしてゆくもたゞんきり
あしをきりてさきかへしてゆくもたゞんきり
あしをきりてさきかへしてゆくもたゞんきり
あしをきりてさきかへしてゆくもたゞんきり
あしをきりてさきかへしてゆくもたゞんきり

Handwritten red mark or character at the top of the right page.

の給うるきくはれよ二三れはそれ神の志くはかり
ゆきくはれ給ひすくちりきりきりきりきりきり
とちりきりきりきりきりきりきりきりきり
これきりきりきりきりきりきりきりきりきり
われきりきりきりきりきりきりきりきりきり
きりきりきりきりきりきりきりきりきりきり
われきりきりきりきりきりきりきりきりきり
これきりきりきりきりきりきりきりきりきり
とちりきりきりきりきりきりきりきりきり
これきりきりきりきりきりきりきりきりきり
とちりきりきりきりきりきりきりきりきり
これきりきりきりきりきりきりきりきりきり
とちりきりきりきりきりきりきりきりきり

の給うるきくはれよ二三れはそれ神の志くはかり
ゆきくはれ給ひすくちりきりきりきりきりきり
とちりきりきりきりきりきりきりきりきり
これきりきりきりきりきりきりきりきりきり
われきりきりきりきりきりきりきりきりきり
きりきりきりきりきりきりきりきりきりきり
われきりきりきりきりきりきりきりきりきり
これきりきりきりきりきりきりきりきりきり
とちりきりきりきりきりきりきりきりきり
これきりきりきりきりきりきりきりきりきり
とちりきりきりきりきりきりきりきりきり
これきりきりきりきりきりきりきりきりきり
とちりきりきりきりきりきりきりきりきり
これきりきりきりきりきりきりきりきりきり
とちりきりきりきりきりきりきりきりきり

しつゝいりやうにせむりしつゝとあやうなり
のいりやうにせむりしつゝとあやうなり
しつゝいりやうにせむりしつゝとあやうなり
しつゝいりやうにせむりしつゝとあやうなり
しつゝいりやうにせむりしつゝとあやうなり
しつゝいりやうにせむりしつゝとあやうなり
しつゝいりやうにせむりしつゝとあやうなり
しつゝいりやうにせむりしつゝとあやうなり
しつゝいりやうにせむりしつゝとあやうなり
しつゝいりやうにせむりしつゝとあやうなり

しつゝいりやうにせむりしつゝとあやうなり
しつゝいりやうにせむりしつゝとあやうなり
しつゝいりやうにせむりしつゝとあやうなり
しつゝいりやうにせむりしつゝとあやうなり
しつゝいりやうにせむりしつゝとあやうなり
しつゝいりやうにせむりしつゝとあやうなり
しつゝいりやうにせむりしつゝとあやうなり
しつゝいりやうにせむりしつゝとあやうなり
しつゝいりやうにせむりしつゝとあやうなり
しつゝいりやうにせむりしつゝとあやうなり

一 諸君の御覧の如く此の御覧の如く
一 諸君の御覧の如く此の御覧の如く
一 諸君の御覧の如く此の御覧の如く
一 諸君の御覧の如く此の御覧の如く
一 諸君の御覧の如く此の御覧の如く
一 諸君の御覧の如く此の御覧の如く
一 諸君の御覧の如く此の御覧の如く
一 諸君の御覧の如く此の御覧の如く
一 諸君の御覧の如く此の御覧の如く
一 諸君の御覧の如く此の御覧の如く

一 諸君の御覧の如く此の御覧の如く
一 諸君の御覧の如く此の御覧の如く
一 諸君の御覧の如く此の御覧の如く
一 諸君の御覧の如く此の御覧の如く
一 諸君の御覧の如く此の御覧の如く
一 諸君の御覧の如く此の御覧の如く
一 諸君の御覧の如く此の御覧の如く
一 諸君の御覧の如く此の御覧の如く
一 諸君の御覧の如く此の御覧の如く
一 諸君の御覧の如く此の御覧の如く

11
~~~~~

始りて... 車... 位... 中... 車... 始りて...  
始りて... 車... 位... 中... 車... 始りて...  
始りて... 車... 位... 中... 車... 始りて...  
始りて... 車... 位... 中... 車... 始りて...  
始りて... 車... 位... 中... 車... 始りて...  
始りて... 車... 位... 中... 車... 始りて...  
始りて... 車... 位... 中... 車... 始りて...  
始りて... 車... 位... 中... 車... 始りて...  
始りて... 車... 位... 中... 車... 始りて...  
始りて... 車... 位... 中... 車... 始りて...

11  
~~~~~  
枕
1
枕
枕
枕

始りて... 車... 位... 中... 車... 始りて...
始りて... 車... 位... 中... 車... 始りて...
始りて... 車... 位... 中... 車... 始りて...
始りて... 車... 位... 中... 車... 始りて...
始りて... 車... 位... 中... 車... 始りて...
始りて... 車... 位... 中... 車... 始りて...
始りて... 車... 位... 中... 車... 始りて...
始りて... 車... 位... 中... 車... 始りて...
始りて... 車... 位... 中... 車... 始りて...
始りて... 車... 位... 中... 車... 始りて...

しつとてさしつかへなくまねられたくの極くを
のしめられたるをまねられたるの極くを
治てされしを治てしを治てしを治てしを治てし
をよほんせりてわつせんよわぬよわぬやせ
ふまの治てしを治てしを治てしを治てしを治てし
をなち治てしを治てしを治てしを治てしを治てし
いそれなち治てしを治てしを治てしを治てしを治てし
しつとてさしつかへなくまねられたくの極くを
しつとてさしつかへなくまねられたくの極くを
しつとてさしつかへなくまねられたくの極くを
しつとてさしつかへなくまねられたくの極くを
しつとてさしつかへなくまねられたくの極くを

よいりてさしつかへなくまねられたくの極くを
せんとてさしつかへなくまねられたくの極くを
しつとてさしつかへなくまねられたくの極くを
しつとてさしつかへなくまねられたくの極くを
しつとてさしつかへなくまねられたくの極くを
しつとてさしつかへなくまねられたくの極くを
しつとてさしつかへなくまねられたくの極くを
しつとてさしつかへなくまねられたくの極くを
しつとてさしつかへなくまねられたくの極くを
しつとてさしつかへなくまねられたくの極くを
しつとてさしつかへなくまねられたくの極くを

下

九

くろくは後人きりよしうりうりきりあつてあ
ともあらふのうたうれとをうてのけつめあよめ
しけつとせしめんとせしめしめりあつてう
まのうりうりうりうりうりうりうりうりうり
せけつめあつてあつてあつてあつてあつてあ
あつてあつてあつてあつてあつてあつてあ
あつてあつてあつてあつてあつてあつてあ
あつてあつてあつてあつてあつてあつてあ
あつてあつてあつてあつてあつてあつてあ
あつてあつてあつてあつてあつてあつてあ
あつてあつてあつてあつてあつてあつてあ

あつてあつてあつてあつてあつてあつてあ
あつてあつてあつてあつてあつてあつてあ
あつてあつてあつてあつてあつてあつてあ
あつてあつてあつてあつてあつてあつてあ
あつてあつてあつてあつてあつてあつてあ
あつてあつてあつてあつてあつてあつてあ
あつてあつてあつてあつてあつてあつてあ
あつてあつてあつてあつてあつてあつてあ
あつてあつてあつてあつてあつてあつてあ
あつてあつてあつてあつてあつてあつてあ

あつてあつてあつてあつてあつてあつてあ
あつてあつてあつてあつてあつてあつてあ
あつてあつてあつてあつてあつてあつてあ
あつてあつてあつてあつてあつてあつてあ
あつてあつてあつてあつてあつてあつてあ
あつてあつてあつてあつてあつてあつてあ
あつてあつてあつてあつてあつてあつてあ
あつてあつてあつてあつてあつてあつてあ
あつてあつてあつてあつてあつてあつてあ
あつてあつてあつてあつてあつてあつてあ

あつてあつてあつてあつてあつてあつてあ

あつてあつてあつてあつてあつてあつてあ

あつてあつてあつてあつてあつてあつてあ

始に此の世のにものなる所をばこそはるる事なるに
始に此の世のにものなる所をばこそはるる事なるに
始に此の世のにものなる所をばこそはるる事なるに
始に此の世のにものなる所をばこそはるる事なるに
始に此の世のにものなる所をばこそはるる事なるに
始に此の世のにものなる所をばこそはるる事なるに
始に此の世のにものなる所をばこそはるる事なるに
始に此の世のにものなる所をばこそはるる事なるに
始に此の世のにものなる所をばこそはるる事なるに
始に此の世のにものなる所をばこそはるる事なるに

しむとらひてさうしうもやまふさうのくた
もれしといふのしよしよしよしよしよしよしよ
ては終ぬさういふわのくさうさうさうさうさう
殿よい大殿のし方下り大船を殿にさうさうさうさ
すしかりにたまへはゆりよわくさうさうさうさう
れんかうこむら希さうさうさうさうさうさうさ
うさうさうさうさうさうさうさうさうさうさ
みるさうさうさうさうさうさうさうさうさ
つていふはさうさうさうさうさうさうさ
たよ物さうさうさうさうさうさうさ
お年とふいさうさうさうさうさうさ
お年とふいさうさうさうさうさ
お年とふいさうさうさうさうさ
お年とふいさうさうさうさ

11.
つは
な
し

終つていふもさう終つては二のあやうとさう
 つりぬ女らうも終つて女君のいとやうなれどえ
 りく君のいとあやうさうなれどいんくれを
 せうりう物いとせうりうのいとせうりう
 するふう終てぬくもあやうなれど
 のあやうなれど方いとせうりう海うてうては
 さらはゆふなりていとせうりうのいとせうりう
 下りあやうのいとせうりうのいとせうりう
 せうりうていふやせうりうのいとせうりう
 のいとせうりうのいとせうりうのいとせうりう
 のいとせうりうのいとせうりうのいとせうりう

せうりう終つていふもさう終つては二のあやうとさう
 つりぬ女らうも終つて女君のいとやうなれどえ
 りく君のいとあやうさうなれどいんくれを
 せうりう物いとせうりうのいとせうりう
 するふう終てぬくもあやうなれど
 のあやうなれど方いとせうりう海うてうては
 さらはゆふなりていとせうりうのいとせうりう
 下りあやうのいとせうりうのいとせうりう
 せうりうていふやせうりうのいとせうりう
 のいとせうりうのいとせうりうのいとせうりう
 のいとせうりうのいとせうりうのいとせうりう

終つ

大ニ



くてみるうらよ海つり給ぬりつてあまをくひら
 やさしう給ぬ中よおと納まぬおのきかよいりり
 わそはさうそくえう給りぬおのり給をていとう
 つらみそくお給つらうくていびらあいらうていれら
 じりへさぬ女御のいさうれこころいさうていりあ
 おおの御あまよつり給ぬいのびつれぬものまんと
 してたまえいさうのまうんくひらあまをくひら
 けらみこころいさうまうさじよまをいさうま
 けらつていさうまをいあめれまをいさうま
 とけらつていさうまをいあめれまをいさうま
 のりよこのあつうさちおまうりていあめれまをいさう

ぬのこむれぬらる梅ざりてまわりまくりはか人の物
 とまじらぬまのこまゆふはにのこま一むしにむじつな
 とくまゆふまににむ梅くまらむしりくまらにむく
 てまゆふににむにむにむくぬぬにむぬぬまゆふり
 はかまのまのこまのこまゆふまゆふりまゆふり
 のはあまもまのこまゆふらむらむらゆふもゆふあは
 物してまゆふらひらりひらりまゆふてまゆふまゆふ
 たり女御のまゆふはゆふのこまゆふまゆふまゆふ
 めのまゆふらむら人のまゆふらひらりゆふまゆふのこま
 くまゆふまゆふまゆふらむらぬらむらゆふらむらこまゆ
 たりまゆふまゆふまゆふまゆふまゆふまゆふまゆふ

しむゆににむゆららまゆふまゆふまゆふまゆふ
 まゆふのゆふにむゆふぬゆふゆふまゆふらむらゆふ
 めまゆふらむらまゆふまゆふまゆふまゆふまゆふ
 たりまゆふまゆふまゆふまゆふまゆふまゆふまゆふ
 まゆふまゆふまゆふまゆふまゆふまゆふまゆふまゆふ
 ぬまゆふまゆふまゆふまゆふまゆふまゆふまゆふ
 まゆふまゆふまゆふまゆふまゆふまゆふまゆふまゆふ
 めまゆふまゆふまゆふまゆふまゆふまゆふまゆふ
 けりまゆふまゆふまゆふまゆふまゆふまゆふまゆふ
 まゆふまゆふまゆふまゆふまゆふまゆふまゆふまゆふ
 まゆふまゆふまゆふまゆふまゆふまゆふまゆふまゆふ
 まゆふまゆふまゆふまゆふまゆふまゆふまゆふまゆふ
 まゆふまゆふまゆふまゆふまゆふまゆふまゆふまゆふ

下女

十一

あつてはあつてのほちおのりしつてあつて
あつてはあつてのほちおのりしつてあつて
あつてはあつてのほちおのりしつてあつて
あつてはあつてのほちおのりしつてあつて
あつてはあつてのほちおのりしつてあつて
あつてはあつてのほちおのりしつてあつて
あつてはあつてのほちおのりしつてあつて
あつてはあつてのほちおのりしつてあつて
あつてはあつてのほちおのりしつてあつて
あつてはあつてのほちおのりしつてあつて

百

あつてはあつてのほちおのりしつてあつて
あつてはあつてのほちおのりしつてあつて
あつてはあつてのほちおのりしつてあつて
あつてはあつてのほちおのりしつてあつて
あつてはあつてのほちおのりしつてあつて
あつてはあつてのほちおのりしつてあつて
あつてはあつてのほちおのりしつてあつて
あつてはあつてのほちおのりしつてあつて
あつてはあつてのほちおのりしつてあつて
あつてはあつてのほちおのりしつてあつて

下六

十四

赤うん

うほやん月へんに月よかりぬちをねはな
 ぬよあはれけりい糸の春をまづのけりけり
 とよと給やあさねけりあそけりけりけり
 けれだくよのあそけりけりけりけり
 ちうくはれけりけりあねたれたれけりけり
 こんじやそけりけりけりけりけりけり
 とそきの文もまづり給けりけりけりけり
 うほやん月へんに月よかりぬちをねはな
 わさるけりけりけりけりけりけりけり
 くりききとあそけりけりけりけりけり

よほやん月へんに月よかりぬちをねはな
 ちうくはれけりけりあねたれたれけりけり
 こんじやそけりけりけりけりけりけり
 とそきの文もまづり給けりけりけりけり
 うほやん月へんに月よかりぬちをねはな
 わさるけりけりけりけりけりけりけり
 くりききとあそけりけりけりけりけり
 ぬよあはれけりい糸の春をまづのけり
 とよと給やあさねけりあそけりけり
 けれだくよのあそけりけりけりけり
 ちうくはれけりけりあねたれたれけり
 こんじやそけりけりけりけりけりけり
 とそきの文もまづり給けりけりけりけり

5

あまふらういんをさしとて終つてわらうり
なりし時^{ゆれ}表りし人のよきとてなせりてなれ
あまふらういんをさしとて終つてわらうり
なりし時^{ゆれ}表りし人のよきとてなせりてなれ
あまふらういんをさしとて終つてわらうり
なりし時^{ゆれ}表りし人のよきとてなせりてなれ
あまふらういんをさしとて終つてわらうり
なりし時^{ゆれ}表りし人のよきとてなせりてなれ
あまふらういんをさしとて終つてわらうり
なりし時^{ゆれ}表りし人のよきとてなせりてなれ

四十五

5

車^{せま}をさしとて終つてわらうり
なりし時^{ゆれ}表りし人のよきとてなせりてなれ
あまふらういんをさしとて終つてわらうり
なりし時^{ゆれ}表りし人のよきとてなせりてなれ
あまふらういんをさしとて終つてわらうり
なりし時^{ゆれ}表りし人のよきとてなせりてなれ
あまふらういんをさしとて終つてわらうり
なりし時^{ゆれ}表りし人のよきとてなせりてなれ
あまふらういんをさしとて終つてわらうり
なりし時^{ゆれ}表りし人のよきとてなせりてなれ
あまふらういんをさしとて終つてわらうり
なりし時^{ゆれ}表りし人のよきとてなせりてなれ

下

下

Handwritten text in a cursive script, likely Japanese Kuzushiji. The text is arranged in approximately 12 horizontal lines. Several characters are highlighted in red ink, including the characters 'に', 'を', 'は', 'を', 'を', 'を', 'を', 'を', 'を', 'を', 'を', 'を'. The text appears to be a formal document or a letter.

Handwritten text in a cursive script, likely Japanese Kuzushiji. The text is arranged in approximately 12 horizontal lines. Several characters are highlighted in red ink, including the characters 'に', 'を', 'は', 'を', 'を', 'を', 'を', 'を', 'を', 'を', 'を', 'を'. The text appears to be a formal document or a letter.



Handwritten Japanese text in a cursive style (sōsho), arranged in vertical columns. The text is written on aged paper and includes several characters in red ink, likely serving as a commentary or a narrative related to the illustration on the opposite page.

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is written vertically on the right page of an open book. It features several lines of dense, flowing characters with some red ink markings and a faint blue grid background.

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is written vertically on the left page of an open book. It features several lines of dense, flowing characters with some red ink markings.

まはるゝわをのゝりしあまのつらきも
くらげのたぐひをふりあやふくくねふふと
あまのつらきもふりあやふくくねふふと
あまのつらきもふりあやふくくねふふと
あまのつらきもふりあやふくくねふふと
あまのつらきもふりあやふくくねふふと
あまのつらきもふりあやふくくねふふと
あまのつらきもふりあやふくくねふふと
あまのつらきもふりあやふくくねふふと
あまのつらきもふりあやふくくねふふと

Shunryū

あまのつらきもふりあやふくくねふふと
あまのつらきもふりあやふくくねふふと
あまのつらきもふりあやふくくねふふと
あまのつらきもふりあやふくくねふふと
あまのつらきもふりあやふくくねふふと
あまのつらきもふりあやふくくねふふと
あまのつらきもふりあやふくくねふふと
あまのつらきもふりあやふくくねふふと
あまのつらきもふりあやふくくねふふと
あまのつらきもふりあやふくくねふふと

あまのつらきもふりあやふくくねふふと
あまのつらきもふりあやふくくねふふと
あまのつらきもふりあやふくくねふふと
あまのつらきもふりあやふくくねふふと
あまのつらきもふりあやふくくねふふと
あまのつらきもふりあやふくくねふふと
あまのつらきもふりあやふくくねふふと
あまのつらきもふりあやふくくねふふと
あまのつらきもふりあやふくくねふふと
あまのつらきもふりあやふくくねふふと

下七

下七

Handwritten text in a cursive script, likely Arabic or Persian, filling the right page of the manuscript. The text is written in black ink on aged paper. There are several red ink markings, possibly indicating specific words or corrections. The script is dense and flows across the page.

Handwritten text in a cursive script, likely Arabic or Persian, filling the left page of the manuscript. The text is written in black ink on aged paper. There are several red ink markings, possibly indicating specific words or corrections. The script is dense and flows across the page.

Handwritten text in Arabic script, likely a manuscript page. The text is written in a cursive style and includes several lines of prose. There are some red ink markings or corrections within the text.

Handwritten text in Arabic script, likely a manuscript page. The text is written in a cursive style and includes several lines of prose. There are some red ink markings or corrections within the text.

Handwritten text in Arabic script, likely a religious or historical document. The text is written in a cursive style and includes several lines of script. There are some red markings and a blue mark within the text.

Handwritten text in red ink, possibly a section header or a specific note within the main text.

Handwritten text in Arabic script, continuing from the previous page. The text is written in a cursive style and includes several lines of script. There are some red markings and a blue mark within the text.

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or letter. The text is written in black ink on aged paper and is enclosed within a rectangular border. Several characters are highlighted in red ink, possibly indicating specific names or titles. The script is dense and flows across the page.

Handwritten text in a cursive script, similar to the one on the opposite page. It is also enclosed within a rectangular border. The text is written in black ink on aged paper. Several characters are highlighted in red ink. The script is dense and flows across the page.

Handwritten red characters at the top of the right page.

Main handwritten text on the right page, written vertically in cursive style.



Main handwritten text on the left page, written vertically in cursive style.





延寶五丁年
初春吉辰開板

引馬文庫

五十八終

